

ペンリレー

きんのペン、ぎんのペン、どうのペン

甲府 21 ワイズメンズクラブ

村上 由美子

甲府 21 クラブの皆様、大変ごぶさたしています。

ペンリレーの当番ということですが、何を書いているのかわかりませんので、自分の事を少し書かせていただきます。

韮崎市の龍岡というところでセブンイレブンを経営しています。平成2年に父が起業し、30歳になった平成19年に父から引き継ぎ、経営者になってしまいました。右も左も分からないと言ってもいい状況でした。当時(今でも)、女性のコンビニ経営者は少なく、他の人に頼る事もなかなかできません。でもおかげさまで経営破綻する事も無く、売り上げも順調に増やしてまいりました。定例会やイベントの際は弁当を注文していただき、ありがとうございます。改めてこの文章を利用してお礼を申し上げます。

店の方は一応順調なのですが、母親が8年半前に脳梗塞を発症し、命は取り留めたものの、3年間は意識不明でした。奇跡的に意識は回復しましたが、重度の障害が残り、きちんとコミュニケーションを取る事ができません。現在介護施設に預かっていますが、配達業務の途中や仕事が終わってから欠かさず施設に足を運んで、返事をする事ができない母に話しかけたり、手を握ったりしていつの日か母が話せるようになるのを願っています。

そんな母に花をプレゼントしたいと、ステキな花を作っていただけの人を探していたところ、紹介されたのが宮岡さんでした。ステキな花はもちろん、その他の人生相談などにも熱心に耳をかたむけてくれ、私の恩人です。その宮岡さんが参加している団体なら間違いないだろうと、よくわからないままワイズメンズクラブに入会させていただきました。

こんな状況ですのなかなか定例会やイベントに参加する事ができないのですが、今後はできるだけ参加をして行きたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

一口メモ

セブンイレブンと言えば、「セブンイレブン、いい気分！」というコピーが懐かしいところですね。その後「近くて便利」や「セブンプレミアム」という商品政策も時代の先取りでした。

さて、ここでひとつクイズです。厚生労働省による医療施設調査によると、2019年10月1日時点での歯科医院の店舗数は68,500店舗でした。それでは、セブンイレブンなどコンビニは、2022年1月現在でこの数字より多かったでしょうか？

答えは第一例会の時に。(水越委員長より)

YMCA便り

Merci beaucoup

“VISION2030”

山梨 YMCA 総主事 露木 淳司

いよいよ YMCA だよりの担当も今回で最後になります。改めまして皆様、未熟者の私を長い間ご指導いただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。実は私にはやり残していることがいくつかあります。そこで、次期総主事の中田純子と共に、この後の山梨 YMCA の事業を引き続き担っていただくスタッフとサポートしていただけるワイズの皆様のために、“VISION2030”と称する将来構想を四項目にまとめましたのでご紹介申し上げます。差し詰め“四つのお願い”とでも申しましょうか。

まず一つ目は、2020年に皆様の募金によって竣工した新会館、グローバル・コミュニティー・センターにおける地域共生社会創生に向けての事業の完成です。障がいのあるなしに関わらず、0才から100才までのすべての人々が、一つ屋根の下で共に居場所づくりをする。この願いを成就するために、野の花保育園とオリーブの木、ぼかぼか・きらきら教室、そして英語学童キッズ・パラダイスの利用者を実際に集め、軌道に乗せること。さらには中高生から大学生を対象とするユース・リーダーの活動を活性化させ、各事業と相互に交流する日常を確立することが求められます。

そして二つ目はトータル・チャイルドケア・システムの構築です。乳幼児期から学童期、青年期、そして就労支援に至るまで、一人ひとりの子どもたちの生涯にわたって伴走していける仕組みを作ります。現在の甲府市、中央市から、山梨県各地にそのための拠点や連携してくれる施設を徐々に拡げ、県民が等しくサービスが受けられるネットワークを作ることを目指します。

三つめはSDGsを念頭に明日の指導者を育成する野外環境教育施設の取得です。下草刈りや農作業、ツリーハウスや冒険施設づくりなど、ワークキャンプによる設備の拡充を実現し、自然体験、生活体験、社会体験の三つの体験学習を可能にします。児童青少年やユースリーダーの心のふるさととなるキャンプ場を目指します。

最後となる四つ目は、ぶどうの木、オリーブの木を立ち上げた小野興子氏の構想、ケアコミュニティーづくりの実現です。地域共生とも関連しますが、高齢者を孤立させない、人生の最後を家庭で安心して過ごせる環境づくりのために、関連する地域の諸団体、施設と連携し、ケアし合えるコミュニティーづくりを目指します。そしてさらに利用者の家族、子孫がYMCAにつながるいきます。

この四つの構想を2030年までに実現させたいと願うのがVISION2030です。ぜひ、皆様も共にこの山梨YMCAの目指すゴールを見据えて、知恵と力をお貸しいただけないでしょうか？



KOFU21

Chartered 1990

甲府21ワイズメンズクラブ

プリテン委員長 水越正高

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

2022年3月1日(火) 発行

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7 山梨YMCAグローバルコミュニティセンター 055-235-8543 fax055-235-8553 Mail kofu21@googlegroups.com

- 国際会長主題: "Y's Men with the world" (世界とともにワイズメン) キム・サンチェ (韓国) スローガン "Heal the World with Love & Dignity" 「愛と尊厳で世界を癒そう」
アジア太平洋地域会長主題: "Make a difference beyond the 100th" 大野 勉 (神戸ポート) スローガン "Be healthy!" 「健康第一！」
東日本区理事主題: 「私たちは次の世代のために何ができるか？」 "Think for the next generation". 大久保知宏 (宇都宮) スローガン 「絆を深めるとき」 "We are stronger together than we are alone"
あずさ部長主題: 「道を拓く〜愛と協力によって」 長谷川 あや子 (東京八王子)
甲府 21 クラブ主題: 「地域貢献を活力に！」 "Fundraising through Community Service!" 米長晴信

甲府21ワイズメンズクラブ 2022年3月会報 CS ワイズメネット

〈今月の聖句〉

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。その中で最も大いなるものは、愛です

コリントの信徒への手紙1 3章1 3節 選者 荻野 清

3月号会長あいさつ

自分にできること



甲府 21 ワイズメンズクラブ会長 米長 晴信

いよいよ日がだんだん長くなり、あと一息で春を迎えようとしています。

コロナ・オミクロン株の猛威で残念ながら3月の例会もリモートで開催する事にいたしました。暖かくなり、皆様と直接お会いできるのを楽しみにしています。

さて、平和が脅かされています。ロシアがウクライナに宣戦布告し、

戦争が起こっています。ウクライナ(旧ソ連)がNATOに加盟するのを阻止するためのロシアの実力行使とされています。政治的問題の解決手段として外交を放棄して武力を行使するのは許されない事です。原油価格が高騰する等、我々の生活にも影響が出ています。

ウクライナにもロシアにもYMCAがあります。世界YMCA同盟総主事のカルロス・サンヴィー氏は戦争勃発直後、「世界YMCAとヨーロッパYMCA同盟は、YMCAウクライナとYMCAロシアに寄り添う」という声明を発表しました。さらに、「ウクライナの平和と被災地のYMCAスタッフ、ボランティアの皆さんの健康を一緒に祈ってください。皆様の連帯をお願いします」とのメッセージを発信しました。

遠く離れた国での戦争について、我々ができる事はなかなか難しいのが現状です。だからこそ、この問題について自分は何ができるのか。ワイズメンズクラブは？自分の所属する会社や組織、地域は？真剣に考えて、どんな小さなアクションでも起してみましよう。そのアクションこそがSDGsです。

ウクライナ・ロシアの皆様の平和を祈念します。

〈3月合同例会プログラム 3月1日(火)〉

日時 2022年3月1日(火) 19:00

形態 Zoomによる完全リモート

司会 小俣 寛 書記

【プログラム】

開会

1. ワイズソング (1番のみ)

2. ワイズの信条

3. 今月の聖句

荻野清メン

4. 会長あいさつ

米長晴信会長

5. ハッピーバースデー (発表のみ)

6. 委員会報告

各委員長

7. 諸報告

・あずさ部評議会

・ナイトフォーラム

・その他

閉会

【敬称略】



《3月の誕生者》

<メン>

松村 豪夫 (3/2)

小俣 寛 (3/18)

<メネット>

薬袋 けさみ (3/31)

(敬称略)

Happy Birthday!





【例会報告】

2022年2月第一例会報告
日時 2022年2月1日(火)
形態 完全リモート開催



年明けと同時に新型コロナウイルスの新変異株・オミクロン株が急速なスピードで全国に拡大し、山梨でも新規感染者数を日々更新するような切迫した状況を鑑み、2月第一例会は、やむなくZoom利用による「完全リモート開催」となりました。例会は、冒頭、オミクロンの急増について米長会長より、リモート開催に至った経緯の説明に併せ、会員の皆さんへの健康維持の呼びかけと短時間で効率のよい会の進行が呼びかけられスタートしました。

◆◆委員会報告◆◆

- <ブリテン委員会>水越委員長より
・紙ベースでの「ブリテン2月号」はYMCAのボックスに入れている。
・合同例会の際配布された甲府21倶楽部独自名簿のデータ配信について、個人情報に関わるものなので事前にメールを通して全会員の意見を確認した上で取り扱っていくこととする。

- <Yサ・CS・ASF委員会>米長会長より
・商店街とのコラボやPRブースの出店等について計画を進めている。

- <TOF・BF・EF委員会>葉袋委員長より
・切手収集について、引き続き協力をお願いしたい。また、今後は収集方法や収集した切手の集約先などについても検討していきたい。

◆◆諸報告◆◆

- ・2月12日(日)開催の「あずさ部第2回評議会」への参加呼びかけ
・次期あずさ部長、EMC事業主査の内定について
・1月22日に開催された八王子倶楽部例会の米長会長ラブの卓話について、ブリテン委員による配信について
・後期会費の納入について
★参加者数20名

※2月15日(火)開催予定の第二例会については、新型コロナウイルス・オミクロン株の急激な感染拡大の状況を考慮し、やむなく中止となりました。その代替・メーキャップとして、2月26日(土)にZoom開催されるChange! 2022主催の「第4回ワイズ・ナイトフォーラム」への参加をもって第二例会への出席扱いとさせていただきます。

会計報告 (2022年3月末)

Table with 4 columns: Item, Niconico Box, Bazaar Income, Christmas Auction. Rows include Target Value, Feb Total, Feb End Balance, and Completion Rate.

《2月例会出席者》

Table with 2 columns: Category, Value. Rows include Member Count (51), Meeting Attendance (20), Attendance Rate (39% as of 2/25).

第4回ナイトフォーラム report

ブリテン委員長 水越正高
日時: 2月26日 20:00~22:00
卓話者: 山田公平 様 (宇都宮クラブ 次々期理事)
(ワイズ・YMCA パートナーシップ 検討委員会リエゾン)

「Y's xSDGs Youth Action2022 について」

パネルディスカッション: あずさ部
テーマ: あずさ部のCS活動

20:00の定刻通りスタートした第4回ナイトフォーラム。ワイズの魅力を既会員のみならず、入会を検討している方にもお伝えしようというオープンフォーラムに参加してきました。甲府21のメンバーも参加し総勢70名近くの熱いイベントでした。開催に先立ち大久保理事より世界YMCA 同盟カルロス様から発信された「ロシアとウクライナを取り巻く衝突」に関して平和と健康をお祈りする宣誓が伝達されました。

■第1部では「Y's xSDGs Youth Action2022 について」と題して、山田公平さんというワイズメンズクラブとYMCAの両方に活躍なさっている方の卓話が開催されました。YMCAの今後のビジョンとして掲げている「ユースの育成」についてその考えをお示しいただきました。その中で3つの重要なポイントが以下の内容となります。

- ①若者が活躍する場があるのか?
②何のために協働するのか?
③見えない未来に向かってどんな挑戦をするのか?

YMCAではアンケートを実施し、YMCAの25歳以下の方々と50代、60代の方では「今後10年の中で、YMCAで何をしたらいいのかわからないのか」ということへの感じ方が違う等の現状把握、ファクトに基づいて課題解決のための行動の指針を検討していることをご説明いただき非常に感銘を受けました。

ユース(若者)に活躍の場を与えるという大きな目標に向かって、現在進行しているプロジェクト型教育の機会「ユースアクション」をやっていること、様々な企画(不登校児の場所づくり・高校生による町おこし・貧困の子供へ絵本を届ける)の事例を共有してくださり、YMCA活動の奥深さを実感いたしました。

■第2部ではあずさ部の甲府・サンライズ・甲府21・八王子、そして富士五湖の5つのクラブが、それぞれの持っているCS活動について紹介発表し、パネルディスカッションを繰り広げました。

○八王子クラブでは歴史あるチャリティーオークションの企画を長年実施しており、これまでの累計で700万円余りを寄附されたことにお聞きし大変参考になりました。

○富士五湖クラブのフライングディスク大会については、そのイベント自体も去ることながら、山梨日日新聞や、YBSなどのマスメディアへの連携が素晴らしいです。メディアや自治体を巻き込んだり活動、認知度向上や集客増加の取り組みはブリテン委員としても大きな学びとなりました。

○甲府クラブでは、甲府駅北口で、NPOと協働して薔薇の育成に取り組まれ、これを見た人が、クラブへの入会をされる、という効果に繋がっています。

荻野ワイズが全体のファシリテーターを務められ、赤根ワイズが甲府21での「ベビーカーコンサート」について発表してくださいました。ありがとうございました。このフォーラムで得た知見を活用し、さらなる活動の発展に寄与できるのではないかと期待のできる2時間でした。

ピンクシャツデーについて

山梨YMCA
中田 純子ディレクター

YMCAでは、毎年2月の最終水曜日にピンクの服や小物を身につけ、「いじめ」について考え行動する「ピンクシャツデー」運動を全国各地で行っています。ここ山梨でも、21ワイズメンの協力により甲府市役所訪問。ポスター掲示して頂きました。企業、他団体等のご協力のもと、子どもも大人も共に、互いに認め合い、多様性を大切にし合う人と人のつながりを作るためのさまざまな活動を行っています。長引く新型コロナの恐怖や不安感、知らず知らずのうちにわたしたちの心に影響を及ぼし、心ない偏見や差別、不寛容をも生み出しています。このような時だからこそ、痛みを持つ他者への想像力を働かせ、「自分ではない誰か」のために行動できる人づくり、地域づくりを行っていきたくてYMCAは考えています。自分のことも他者のことも大切にできる関係性に支えられた地域社会一ポジティブネッターを山梨に・・・来年度2022年度では皆様のご協力をお願いいたします。

ヴァンフォーレ甲府のご協力を頂きました



ピンクシャツデーは、2007年、カナダの学生2人から始まった「いじめ反対運動」です。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が75枚のピンクのシャツやタンクトップを、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身につけて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然と無くなったそうです。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月の最終水曜日に、私たちもいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日として行います。

2022年(令和4年)2月25日 金曜日

ピンクシャツデー いじめ防止へ 山梨YMCAが運動展開

「この1週間、うれしい言葉や元気になる言葉を友達に掛けてみよう」。21日、甲府・山梨YMCAグループバルコミニティーセンターで開いたワークショップ(研究集会)で、ピンク色のTシャツを着たスタッフが児童に呼び掛けた。



ピンクシャツデーのワークショップに参加する児童ら 甲府市中央3丁目

2022年2月25日山梨日日新聞

山梨YMCA(甲府市中央3丁目、野々垣健五理事長)は、いじめ防止を目的とした「ピンクシャツデー」を展開している。世界的ないじめ反対運動「ピンクシャツデー」(23日)に合わせ、21~25日を「ピンクシャツ・ウィーク」とし、スタッフがピンク色のシャツや小物を身につけ、子ども向けのワークショップなどを開いている。(山本久美子)

「この1週間、うれしい言葉や元気になる言葉を友達に掛けてみよう」。21日、甲府・山梨YMCAグループバルコミニティーセンターで開いたワークショップ(研究集会)で、ピンク色のTシャツを着たスタッフが児童に呼び掛けた。期間中は全国のYMCAをオンラインで結び、いじめについて考えることは大事。友達に優しい言葉を掛けてあげたいと話した。山梨YMCAは17年度から活動している。担当者「全員に活動を広げたい。大人が呼び掛けるからではなく、子どもたちには自分の頭で考えて行動してほしい」と話している。

わたしもピンクシャツ着てますよ。



YMCAアフタースクール いじめを考える子どももかぎ「一人ひとりをたいせつに」

